

低入札価格調査における 見積内訳書の判断基準について

[判断事例]

【内容】

1. 設計内訳表についての事例 [3例]
 - ・内訳－1 ～ 内訳－3

2. 明細表についての事例 [2例]
 - ・明細－1 ～ 明細－2

3. 施工単価表・運転単価表・単価表 [5例]
 - ・単価－1 ～ 単価－2
 - ・運転－1 ～ 運転－3

平成22年4月1日

※平成22年4月1日改正
「三重県低入札価格調査実施要領」
「三重県低入札価格調査マニュアル」
に基づき実施する低入札価格調査における事例です。

設計内訳表					青字：仕様書明示部分 黒字：見積記入部分 赤字：着目点 ※数量金額等は 架空の数字です。		
費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額
本工事費							
道路改良		式			1		
道路土工		式			1		
掘削工		式			1		
路床盛土工		式			1		
路体盛土工		式			1		
擁壁工		式			1		1,641,957
作業土工		式			1	654,321	654,321
小型擁壁工		式			1	987,654	987,654
直接工事費計		式			1		5,209,727

【計算】
 作業土工 : 654,321
 + 小型擁壁工 : 987,654
 擁壁工 : 1,641,975 の計算について
 擁壁工 : 1,641,975 → 1,64,957 と異なる金額を記入してある場合。
 ◇これは「**違算**」となることから、「**適正であると言えない**」とする。

内訳 - 1

直接工事費計							
共通仮設費計							
安全費							
技術管理費							
共通仮設費 (率計上額)							
純工事費		式			1		6,999,849
現場管理費		式			1	1,234,567	1,234,567
工事原価		式			1		8,234,452
一般管理費等		式			1	1,111,111	1,111,111
工事価格		式			1		9,344,000
消費税及び地方消費税相当額		式			1		467,200
本工事費計		式			1		9,811,200

【計算】
 工事原価 : 8,234,452
 + 一般管理費等 : 1,111,111
 工事原価 : 9,345,563 の計算について
 工事原価 : 9,345,563 → 9,344,000 (差額 : 1,563円) と異なる金額を記入してある場合。
 ◇これは「**千円未満の端数処理**」ではないので、「**違算**」となることから、「**適正であると言えない**」とする。

内訳 - 2

千円未満の端数処理		設計内訳表					
(会社名・代表者名)							
費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金
本工事費							
道路改良				式	1		3,563
道路土工				式	1		1,924
掘削工				式	1		6,999
純工事費							
現場管理費				式	1	1,234,567	1,234,567
工事原価				式	1		8,234,452
一般管理費等				式	1	111,111	111,111
工事価格				式	1		8,345,000
消費税及び地方消費税相当額				式	1		
本工事費計				式			

青字：仕様書明示部分
 黒字：見積記入部分
 赤字：着目点
 ※数量金額等は架空の数字です。

【計算】
 工事原価 : 8,234,452
 + 一般管理費等 : 111,111
 工事原価 : 8,345,563
 の計算について
 工事原価 : 8,345,563
 → 8,345,000 (差額 : 563円) と
 異なる金額を記入してある場合。
 ◇これは「千円未満の端数処理」と認められるので、「適正である」とする。

内訳 - 3

金額に影響のない「誤記」
「転記ミス」

青字：仕様書明示部分
黒字：見積記入部分
赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

第 0002 号 明細表 路床盛土工		(上段：前回 下段：今回)			1式	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械敷均し		m3				第0005号施工単価表
路床 レキ質土			40	480	19,200	
機械締固め		m3				第0006号施工単価表
			40	232	8,920	
合計					28,120	

機械締固め		第0006号施工単価表 100 m3 当り				
名称	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械運転費	日	1	22,222	22,222	第0007号運転単価表	
諸雑費	式	1		78		
合計	m3	100		22,300		
単位当り	m3	1 当り		223		

機械締固めの施工表単価より 1m3当たり単価：223円と
明細表の機械締固め 1m3当たり単価：232円が異なる場合。

数量：40 「明細表」における「機械締固め」の「金額」欄に、
× 単価：223 施工単価表に記載の「単価」223円を用いて計算した場合の
金額：8,920 金額8,920円（左記計算参照）が記入されている。

この場合、「明細表」の「機械締固め」における計算「数量×単価＝金額」は正しくないが、「機械締固め」として計上すべき金額（8,920円）は計上されている。

◇これは工事費算出計算に影響は無い
「誤記（転記ミス）」と認められることから、「適正である」とする。

金額に影響のある「誤記」
「**違算**」

青字：仕様書明示部分
黒字：見積記入部分
赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

第 0002 号 路床盛土工		(上段：前回 下段：今回)			1式	
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械敷均し		m3	40	480	19,200	第0005号施工単価表
路床 しき質土		m3	40	232	9,280	第0006号施工単価表
機械締固め		m3	40	232	9,280	第0006号施工単価表
合計					28,480	

機械締固め		第0006号施工単価表 100 m3 当り			
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
機械運転費	日	1	22,222	22,222	第0007号運転単価表
諸雑費	式	1		78	
合計	m3	100		22,300	
単位当り	m3	1 当り		223	

「機械締固め」の施工表単価より、1 m3当たり単価：223円と
明細表の「機械締固め」 1 m3当たり単価：232円が異なる場合。

① 数量 : 40	② 数量 : 40
× 単価 : 223	× 単価 : 232
金額 : 8,920	金額 : 9,280

「明細表」における「機械締固め」の「金額」欄に、「施工単価表」に記載の「単価」223円を用いて計算した場合の金額8,920円（左記①計算参照）とは異なる金額9,280円が（左記②計算参照）が記入されている。
この場合、「明細表」の「機械締固め」における計算「数量×単価＝金額」は正しいが、「機械締固め」として計上すべき金額（8,920円）と異なる金額が計上されている。

◇これは工事費算出計算に影響があり
「誤記（**違算**）」と認められることから、「**適正であるとは言えない**」とする。

見積書等に記載の単価（下記の赤○）と、
 施工単価表（単価表・運転単価表も同じ）
 に記載の単価（下記の緑◇）が異なる場合。

青字：仕様書明示部分
 黒字：見積記入部分
 赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

基礎砕石工 RC-40再生材 厚 0.2 m				第0022号施工単価表 100 m ² 当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人	0.12	34,500	4,140	○施工単価表に記載の単価について ・見積書等に記載の単価（下記赤○：1,230円）より施工単価表に記載の単価（左表の緑◇：1,320円）の方が高額の場合。 →見積書等に記載の単価以上の金額が計上されていることから、資材納入業者（下請）へのしわ寄せにつながらないため、「適正である」とする。
特殊作業員	人	0.34	23,400	7,956	
普通作業員	人	0.56	12,300	6,888	
再生クラッシャーラン RC-40	m ³	24	1,320	31,680	
機械運転費	日	0.78	45,600	35,568	
諸雑費	式	1		468	第0012号運転単価表
合計	m ²	100		86,700	
単位当り	m ²	1 当り		867	

御見積書

〇〇〇建設株式会社 様

〇〇資材店

項目	単位	数量	単価	金額	備考
再生クラッシャーラン RC-40	m ³	1	1,230	1,230	現場渡し
粒度調整採石 M-30	m ³	1	1,340	1,340	現場渡し
以上					

見積書等に記載の単価（下記の赤○）と、
 施工単価表（単価表・運転単価表も同じ）
 に記載の単価（下記の緑◇）が異なる場合。

青字：仕様書明示部分
 黒字：見積記入部分
 赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

基礎砕石工 RC-40再生材 厚 0.2 m		第0022号施工単価表 100 m2 当り			
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人	0.12	34,500	4,140	○施工単価表に記載の単価について ・見積書等に記載の単価（下記赤○：1,230円）より施工単価表に記載の単価（左表の緑◇：1,203円）の方が 低額 の場合。 →見積書等に記載の単価に満たない金額が計上されていることから、資材納入業者（下請）へのしわ寄せにつながる可能性があるため「 適正であると言えない 」とする。
特殊作業員	人	0.34	23,400	7,956	
普通作業員	人	0.56	12,300	6,888	
再生クラッシャーラン RC-40	m3	24	1,203	28,872	
機械運転費	日	0.78	45,600	35,568	
諸雑費	式	1		476	
合計	m2	100		83,900	
単位当り	m2	1 当り		839	

御見積書

〇〇〇建設株式会社 様

〇〇資材店

項目	単位	数量	単価	金額	備考
再生クラッシャーラン RC-40	m3	1	1,230	1,230	現場渡し
粒度調整採石 M-30	m3	1	1,340	1,340	現場渡し
以上					

機械損料が0円で計上されている場合

青字：仕様書明示部分
 黒字：見積記入部分
 赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

機械運転費				第0010号運転単価表 1日当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
一般運転手	人	1	12,300	12,300	
軽油 一般用	リットル	88	99	8,712	
ダンプトラック機械損料	供用日	1.23	0	0	第0011号運転単価表
タイヤ損耗費	供用日	1.23	567	697	
諸雑費	式	1		0	
合計	日	1		21,709	
単位当り	日	1 当り		21,709	

ダンプトラック機械損料				第0011号運転単価表 1供用日当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック機械損料[15欄]	供用日	1	0	0	
合計	供用日	1		0	
単位当り	供用日	1 当り		0	

手持機械である等の理由で「単価：0円」となっている場合

「機械損料を0円で設定できる根拠」が当該機械にかかる原価の算定資料等により

- ・ 確認できる場合 → 「適正であると言える」とする。
- ・ 確認できない場合 → 「適正であると言えない」とする。

下位単価表から引用する項目の「名称」のみが異なる場合

青字：仕様書明示部分
 黒字：見積記入部分
 赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

機械運転費				第0010号運転単価表 1日当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
一般運転手	人	1	12,300	12,300	
軽油 一般用	リットル	88	99	8,712	
バックホウ機械損料 <small>(仕様書記載名称： ダンプトラック機械損料)</small>	供用日	1.23	23,400	28,782	第0011号運転単価表
タイヤ損耗費	供用日	1.23	567		
諸雑費	式				
合計	日	1		50,491	
単位当り	日	1 当り		50,491	

・名称「バックホウ機械損料」が、下位の運転単価表の名称「ダンプトラック機械損料」と異なっているが、名称以外の記述は全て整合している場合
 →金額等に影響が無く、名称の「誤記」と認められるため、「適正であると言える」とする。

ダンプトラック機械損料				第0011号運転単価表 1供用日当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック 機械損料[15欄]	供用日	1	23,400	23,400	
合計	供用日	1		23,400	
単位当り	供用日	1 当り		23,400	

下位単価表から引用する項目の
事項が複数異なる場合

青字：仕様書明示部分
黒字：見積記入部分
赤字：着目点

※単価・数量は架空の数字です。

機械運転費				第0010号運転単価表 1日当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
一般運転手	人	1	12,300	12,300	
軽油 一般用	リットル	88	99	8,712	
バックホウ機械損料 (仕様書記載名称： ダンプトラック機械損料)	供用日	1.23	21,000	25,830	第0011号運転単価表
タイヤ損耗費	供用日	1.23	567		
諸雑費	式				
合計	日	1			
単位当り	日	1 当り		7,539	

・名称「バックホウ機械損料」が、
下位の運転単価表の名称「ダンプ
トラック機械損料」と異なる
・単価21,000円が、下位の運転単価
表の単価23,400円と異なる
→名称と単価（複数以上の項目）が
異なるため、下位単価表との関連
が不明確であり「誤記」と認めら
れないため、
「適正であると言えない」とする。

ダンプトラック機械損料				第0011号運転単価表 1供用日当り	
名称	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック 機械損料[15欄]	供用日	1	23,400	23,400	
合計	供用日	1		23,400	
単位当り	供用日	1 当り		23,400	